

視点・論点

6月定例会

6月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務委員会

当委員会付託の議案五件、報告一件、請願一件の審査結果の報告をする。

第四八号議案「固定資産評価審査委員会委員の選任」及び第四九号議案「筑紫公平委員会委員の選任」は、人事案件で同意が求められた。

第五二号議案「平成十七年度一般会計補正予算(第一号)」は、歳出として介護保険事業特別会計繰入金九百三万八千円等を増額し、二百七十九億千五百四十七万円に補正するもの。

第五六号及び第五七号議案は、市町村合併に伴い組合を組織する数の変更の同意が求められた。

報告第四号「専決処分平成十六年度一般会計補正予算(第六号)」は、歳出として繰上償還元利金一億三百九十九万二千円を増額し、二百八十三億三千八百四十七万八千円に補正するもの。以上六件は、原案のとおり可決又は承認した。なお、請願第一号「『市場化テスト』や『給与構造見直し』に反対する意見書を求める請願」は継続審査することに全員が賛成した。

文教委員会

付託された議案三件のうち二件は春日市教育委員会委員の任命についてであり、五十川美智子氏と長濱智基氏が平成十七年六月二十八日付けで任期満了となるので、引き続き両氏を任命することに同意し、議会の同意を求められた。慎重に審査を行い両議案に全員が同意した。

次に人権擁護委員の候補者の推薦について、初井勇次氏が平成十七年九月三十日付けで任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、議会の意見を求められた。慎重に審査を行い原案に全員が同意した。また福岡県女性農業委員の会より提出された要望書「女性農業委員の登用に関する要望について」が委員会に送付されたので農業委員の現状、任務、課題、女性比率などを議題とした。

また設立十周年記念事業を含む「平成十七年度財団法人春日市文化スポーツ振興公社の事業計画について」の報告を受けた。

厚生委員会

委員会に付託された議案一件と報告二件は全員賛成でした。

平成十七年度春日市介護保険事業特別会計補正予算については介護保険事業のシステム改修のための委託料が主なものでした。今国会で可決すれば十月よりホテルコストが個人負担になるなどシステムが大きく改修されます。予防介護も問題を残しており介護保険の見直しについても議論をしました。

次に報告第二号「専決処分について(春日市税条例の一部を改正する条例の制定について)」及び報告第三号「専決処分について(春日市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)」です。地方税法改正は個人住民税の定率減税の縮減や市条例改正を伴う高齢者等に対する課税等で、これを審議する中で弱者にとって増税であること、また増税の場合、市民に対しての周知徹底を図るべき、今後平成十八年に向けて地方自治がきっちり行われるよう「税源移譲の実現」を確実にしてほしいなどの意見が出されました。

建設委員会

付託を受けた議案三件、報告一件について、「非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の改正について」は、年数と階級に応じて、二千円アップさせる内容であるが、公務災害等に対しても、市独自の保険制度を取り入れるなど、さらなる改善の要望が多数出された。「町の区域の設定及び変更について」は、平田台の土地区画整理事業に伴うもので、今後居住者に影響を及ぼす内容等にも触れ、これまでの行政の取り組みについて論議がなされた。「市道路線の認定について」、今回の認定路線は、上白水、白水ヶ丘、天神山地内の合計七路線であった。

「専決処分について」の報告は、市が売却した土地内にマンホール及び排水管が埋設されており、その撤去等について訴訟がなされ、その後、協議が調い、調停が成立したという内容で、今後の売却に関しての十分な調査の要望が出された。審査の結果、全議案とも全員が原案に賛成した。